

社会	第1学年	1年間の学習内容とねらい
----	------	--------------

社会科の目標	学 習 内 容	学 習 の ね ら い
<p>(1) 広い視野に立って、社会に対する関心を高める。</p> <p>(2) 資料に基づいて多面的、多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深める。</p> <p>(3) 公民としての基礎的教養を養い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会の形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。</p>	<p>《歴史》</p> <p>○歴史のとらえ方</p> <p>一 ○古代までの日本</p> <p>・文明のおこりと日本の成り立ち</p> <p>・古代国家の歩みと東アジア世界</p>	<p>・歴史上の人物やできごとなどについて調べたり考えたりする活動を通して、時代区分や時代の移り変わりに気づく。</p> <p>・日本列島において人々の生活が始まり、やがて国家が形成されていった過程のあらましを、東アジアの動きと関連づけて理解する。</p> <p>・国際的な要素を持った文化が栄え、のちに文化の国風化が進んだことを、具体的な事例を通してとらえる。</p>
	<p>《地理》</p> <p>○世界のすがた</p> <p>○世界各地の人々の生活と環境</p> <p>・</p>	<p>・世界を地理的に認識するための座標軸として、地球儀や世界地図を活用して、大陸と海洋の形状や分布を取り上げ、地球規模での位置関係をとらえるための知識と技能を身につける。</p> <p>・地域で異なる事前環境の違いを写真や映像資料、雨温図、統計資料からとらえる。</p>
<p>【評価の観点・方法】</p> <p>社会科では、次の4つの観点で目標がどれだけ達成されたかにより、評価します。</p> <p>①社会的事象への関心・意欲・態度</p> <p>・社会的事象に対する関心を高め、それを意欲的に追求し、よりよい社会を考え自覚を持って責任を果たそうとする。</p> <p>②社会的な思考・判断・表現</p> <p>・社会的事象から課題を見だし、社会的事象の意義や特色、相互の関連を多面的、多角的に考察し、社会の変化を踏まえ公正に判断し、その過程や結果を適切に表現している。</p> <p>③資料活用の技能</p> <p>・社会的事象に関する諸資料から有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。</p> <p>④社会的事象についての知識・理解</p> <p>・社会的事象の意義や特色、相互の関連を理解し、その知識を身につけている。</p> <p style="margin-left: 2em;">A：十分満足できる</p> <p style="margin-left: 2em;">B：おおむね満足できる</p> <p style="margin-left: 2em;">C：努力を要する</p> <p>【評価の方法】</p> <p>☆定期テスト</p> <p>☆作品・<u>レポート・ノート</u></p> <p>☆授業の活動・態度</p> <p>☆自己評価 等活用して評価します</p>	<p>○世界の諸地域</p> <p>・アジア州</p> <p>・ヨーロッパ州</p> <p>・アフリカ州</p> <p>・北アメリカ州</p> <p>・南アメリカ州</p> <p>・オセアニア州</p>	<p>・世界の諸地域の地域的特色を理解するために、それぞれの地理的事象に関する<u>学習テーマを設定し、意欲的に追求する。</u></p> <p>・世界の諸地域の自然環境、産業、生活・文化、歴史的背景などの特色について概観し、地球儀や地図帳などを活用しながら、それぞれの基礎的・基本的な知識を身につける。</p>
	<p>《歴史》</p> <p>○中世の日本</p> <p>・武士の台頭と鎌倉幕府</p> <p>・東アジア世界とのかかわりと社会の変動</p>	<p>《地理》</p> <p>○日本のすがた</p> <p>○世界からみた日本のすがた</p>
<p>特色ある学習方法</p> <p>☆本校社会科では</p> <p>①興味関心のある課題を設定し、主体的な学習を促す学習指導を行っています。</p> <p>②生徒が主体となるような多様な学習形態を工夫しています。</p> <p>③<u>新聞作り、レポート作成、調査活動</u>などを取り入れ、生徒の個性伸長を図ります。</p>	<p>三</p> <p>学</p> <p>期</p>	<p>・日本の国土の位置及び領域の特色と変化を世界的な視野から多面的・多角的に考察し、日本の現状を位置と領域の面から大観する。</p>